



議会と語ろう会（議会報告会）を10月3日、4日にそれぞれ町内4カ所のコミュニティセンターで開催しました。ご参加いただきました住民の皆さま、ありがとうございました。

▲野添コミュニティセンター

住民との対話を重視 声の届く議会を目指して

インフラ整備

- ◎ 大池周辺の街灯設置について、住民の方への配慮はしたのか。
- ▲ 大池周辺には接している住宅が1軒あるが、所管グループとの調整により承諾を得ている。
- ◎ 水田川の拡幅工事が山陽電鉄の下流で止まっている。

- ▲ 新幹線の橋脚幅の問題で現況の水田川の拡幅はできない。雨量が増えた時の対応にパイパス水路を設置する計画を進めている。

- ◎ 土山駅南に防災公園が、来春に完成するが、想定外の風水害が発生しており、町道浜幹線より南にも防災公園が必要ではないのか。
- ▲ 海側は標高が低く、地震による波が発生した場合、安全のため山側に避難することになる。



▲南部コミュニティセンター

公共交通

- ◎ 1人暮らしの高齢者の中には、医療機関に行く手段として、タクシーを利用する人がいる。年金暮らしでは生活が厳しい他市のようなバスを運行してほしい。
- ▲ 昨年度より関係者を交えた地域公共交通会議が立ち上がっている。平成28年度内を目標に実証運行開始としている。医療機関では、路線バスでも通院は可能である。議会として、住民にとっての方式が良いか見定めていく。

財政

- ◎ 教育費の伸びが大きいが今後も続くのか。
- ▲ 学校施設の改修が今後も継続的に必要となる。
- ◎ 播磨町の知名度が低い。町外から人やお金が入ってくるようにすべきではないか。
- ▲ 地方創生の総合戦略を考えるなかで検討している。9月補正予算で播磨町の魅力を発信する冊子や映像を制作することになった。

安心安全

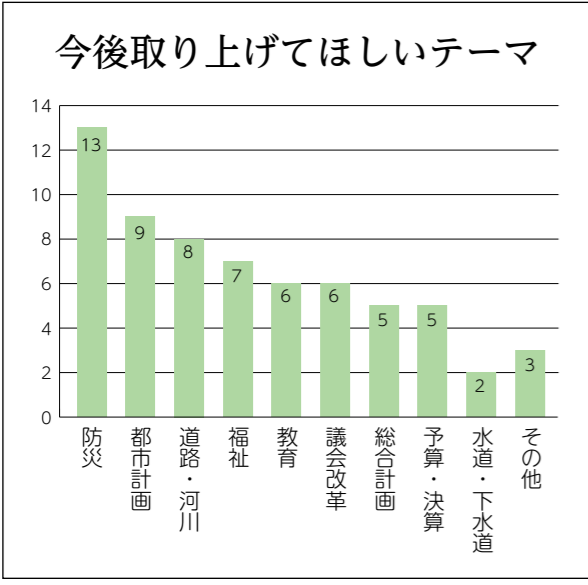
- ◎ 町道浜幹線の交通量が、全線開通前に比べ増加している。速度規制の考えはないか。
- ▲ 十分な道路幅で、歩道も整備されており、50キロ制限となっている。速度制限については、引き続き取り組んでいく。
- ◎ 海側に避難タワーの建設は考えられないか。
- ▲ 現在、津波避難ビルへの指定を進めている。避難タワーの建設は難しいと考えられる。

意見・提言

- ▼ 町道浜幹線は美しく道路整備がされている。旧集落内の道路も整備してもらいたい。
- ▼ 石ヶ池公園が防災公園として登録されており、仮設トイレなど多く備蓄されている。今後は防災訓練などで活用したい。
- ▼ 議会と語ろう会の案内は、現在問題になっている議題を回覧やポスターで記載してはどうか。

感想(アンケート)

- ▼ 播磨町にコミュニティバスが欲しい。
- ▼ 住民の一人として、せっかく議員の皆さんと話せる機会なので、個別事案ではなく町全体の大きな話ができればよかった。
- ▼ 予算についての話を掘り下げるのが播磨町について戦略的に考えることにつながるように思いました。
- ▼ 答弁者の声が小さい。マイクを活用してほしい。



はりま議会だよりが 特別・中央文化社賞を受賞

第36回兵庫県町議会広報紙コンクールにおいて、はりま議会だより222号（平成27年4月24日発行）が「特別・中央文化社賞」を受賞しました。これからも皆様に読んでいただける広報紙づくりにまい進してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



お詫びと訂正

平成27年10月24日に発行しました「はりま議会だより」225号にて下記のとおり誤りがありました。

①15ページ「委員会のうごき」の厚生教育常任委員会のコーナー3段目7～10行目

【誤】通常の利用に加え、クリーンキャンペーンなどのイベント参加者の利用も考えている。

【正】地元の方も多いが、イベントの時や、来町者の利用を考えている。

②16ページ「表紙の題字は」にて橋本怜音くんのお名前のふりがなに誤りがありました。

【誤】はしもと れおん
【正】はしもと れん

橋本怜音くんをはじめご家族の皆様並びに関係各位、そして読者の皆様にご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。